



取扱説明書

V1.0

4040 A

Integrated Amplifier

WWW.CREEKAUDIO.COM

4040 A インテグレートッドアンプのユーザーマニュアル

4040 A は使いやすいインテグレートッドアンプですが、使用を開始して安全を確保するため、まずユーザーマニュアルをお読みください。

Creek Audio の 40 周年記念 4040 A インテグレートッド アンプをお買い上げいただき、ありがとうございます。お客様は、最先端のオーディオ製品を手に入れました。最高のパフォーマンスを得るために、ユーザーマニュアルを少し時間をかけてお読みください。

ユーザーマニュアルでは、4040 A を「アンプ」または「アンプリファイア」と説明している場合があります。

このマニュアルの最新バージョンについては、www.creekaudio.com をご覧ください。4040 A 製品ページに移動し、「ユーザーマニュアル」というタブをクリックしてください。

アンプの開梱と配置

アンプを開梱する際は、将来使用する場合に備えて梱包材を保管してください。箱の中には、使用国の主電源に接続できる電源コードが入っています。リモコンと電池も入っています。

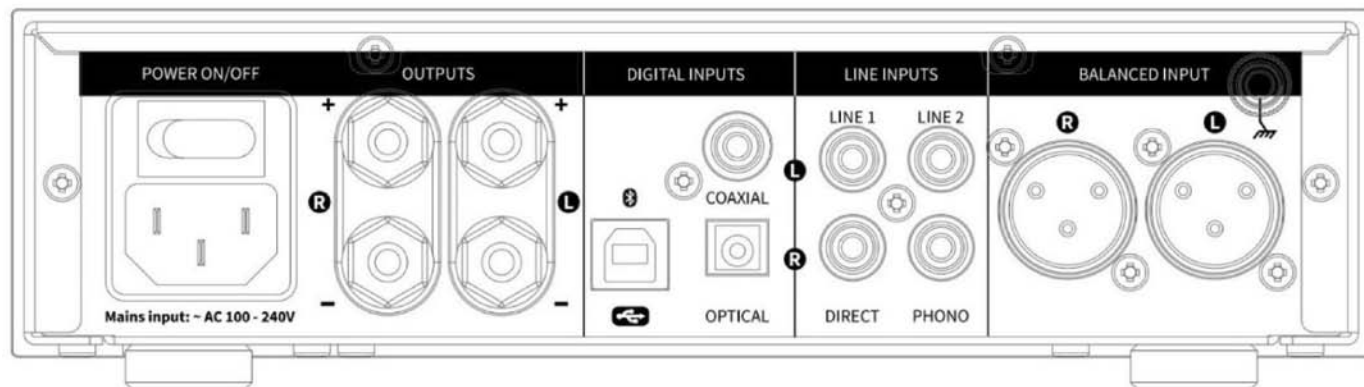
主電源接続と重要な安全情報

アンプは、ベースにある電圧セレクタースイッチで、お住まいの地域の正しい電源電圧に工場で設定されています。アンプは、安全と正しい電磁性能のために、付属の地域の主電源プラグを介して接地する必要があります。接地ピンを外すために、接地リフト装置を使用しないでください。

安全警告

電圧が 100V AC に設定されているときに 200V AC を入力すると、損傷が発生します。さらにアドバイスが必要な場合は、販売店、輸入業者、または info@creekaudio.com にお問い合わせください。

背面パネルへの接続



OUTPUTS 電源をオフにして、各スピーカーから Out Puts 端子にスピーカー ケーブルを接続します。

LINE INPUTS ストリーマー/DAC、または CD プレーヤーのオーディオ出力を、ステレオ RCA-RCA 接続ケーブルを使用して、Line 1 または Line 2 (アンバランス入力) に接続します。

DIRECT Line 1 はメニューで PA Direct に設定でき、プリアンプをバイパスして、外部プリアンプやボリューム コントロール付き DAC などからパワー アンプに直接信号を送ります。

PHONO INPUT Line 2 は、オプションの Sequel mk4 モジュールをインストールするとフォノ入力になります。

BALANCED INPUT ストリーマー、DAC、または CD プレーヤーを XLR-XLR 接続ケーブルのペアでバランス入力に接続します。

USB コンピューター/ラップトップまたは音楽ストリーマーを、長さ 5 メートル以内の USB (プリンター) ケーブル、タイプ A から B、またはタイプ C から B に接続します。

COAXIAL CD トランスポート、ネットワークストリーマー、またはその他のデジタル製品を 75 Ω RCA-RCA デジタル同軸ケーブルで接続します。

OPTICAL CDトランスポート、ネットワークストリーマー、TV、衛星受信機、またはその他のデジタル出力デバイスを光ケーブルで接続します。

BLUETOOTH（非対応/日本仕様）

主電源接続

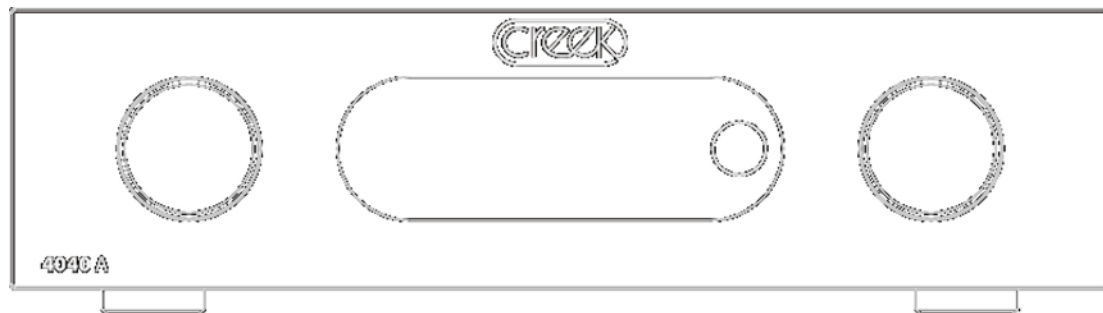
付属の主電源コードを背面パネルの IEC ソケットに差し込み、主電源プラグを最寄りの壁コンセントまたは延長テーブルタップのソケットに差し込みます。

電源オン/オフ

背面パネルの IEC 主電源ソケットの上にあるロッカースイッチを **I** のマークが付いた ON の位置に動かします。4040 A は自動的に電源が入り、CREEK のロゴがフロント パネルに数秒間表示された後、HOME 画面に切り替わります。

アンプを主電源から電氣的に分離するには、背面パネルのロッカースイッチを **O** のマークが付いた OFF の位置に動かすか、電源ケーブルを取り外します。

フロント パネルのコントロールとディスプレイ



ディスプレイ 入力、音量、その他のステータスメッセージがディスプレイウィンドウに表示されます。ミュート、音量、自動スタンバイ タイマー、EQ（低音と高音のコントロール）も上部に表示され、デジタル接続ステータスは下部に表示されます。

ヘッドフォン ヘッドフォン ジャック ソケットはディスプレイ ウィンドウの右側にあります。使用中は、スピーカー出力は自動的にミュートされます。

【 右側のノブ 】

音量 回転させて音量レベルを 0（最小）から 70（最大）に調整します。

ミュート 短く押すと出力がミュートされ、もう一度押すと出力がミュート解除されます。

【 左側のノブ 】

電源オン スタンバイ モードから手動で電源をオンにするには、1 回押します。

自動スタンバイ 手動でスタンバイ モードに入るには、2 秒間押します。

入力 回転させて 3 つのアナログ入力と 4 つのデジタル入力を選択します。

SETUP MENU 1 回押して入り、回転させて次のオプションにアクセスします。

--- **Input** 押して新しい入力を選択します。

--- **Balance** 左または右に回転させて、スピーカー間のステレオ イメージを移動します。

--- **EQ** ON を選択すると、EQ（トーン コントロール）が有効になります。OFF を選択すると、EQ が無効になります。高音と低音は、EQ が ON のときのみ調整できます。

--- **Treble** 必要に応じて高音をブーストまたはカットします。

--- **Bass** 必要に応じて低音をブーストまたはカットします。

--- **BT Pairing** （非対応/日本仕様）

--- **PA Direct** PA ダイレクトモードを有効にするには、ON を選択します。Line 1 に戻るには、OFF を選択します。

《警告》 音量レベルを制御する、前面にプリアンプがない状態でソースデバイスを PA ダイレクトに接続しないでください。

--- **Dimmer** Always On でディスプレイがオン、Auto Off を選択すると 20 秒後にディスプレイがオフになります。

--- **Brightness** ディスプレイの明るさを調整します。

--- **Auto Standby** Always On、Idle 30 mins、Idle 60 mins、または Idle 120 mins に調整します。

--- **USB Wake On** Enabled を選択すると、自動的にスリープ状態になるコンピューターまたはラップトップに接続されたときに、4040 A がスタンバイモードから自動的にウェイクアップします。この機能を有効にするには、PC またはラップトップの BIOS で電源管理の調整が必要になる場合があります。Apple IOS の調整については、設定に移動してください。

- **Info** 押すとモデル番号 4040 A とソフトウェアリビジョンが表示されます。
- **Reset** 押すとアンプが工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。

RC-40 リモート コントロール



操作は簡単ですが、一部のボタンには二重の機能があり、AMP または CD を最初に押す必要があります。

【 アンプの操作 】

AMP ボタンを 1 回押すと、アンプの機能が優先されます。この指示は記憶されるため、一度実行すれば、CD 優先から切り替える場合を除き、再度実行する必要はありません。

青いスタンバイボタンを押すと、アンプが起動するか、スタンバイモードになります。

その他の機能ボタンは次のとおりです。

音量 + UP および - DOWN。

ミュート X 印の付いたスピーカーシンボルでミュートが解除されます。

入力 上矢印ボタン  または下矢印ボタン  で選択。

MENU MENU ボタンを押し、上矢印ボタンと下矢印ボタンでオプションを選択します。

【 CD の操作 】

CD を1 回押すと、CD プレーヤーの機能をリモート コントロールできます。指示は記憶されます。アンプの音量とミュートは、CD モードでも機能します。

MAIN 再生 >、一時停止 II、停止 ■、>>I トラック送り、I<< トラック戻し、>> スキャン順、<< スキャン逆、▲ディスクの取り出し。

MENU MENU ボタンを押すとメニューに入ります。オプションには、ディスプレイの明るさ、SW リビジョン情報などがあります。

番号キー 0 から 9 は直接トラックにアクセスするためのものです。

REPEAT 番号キーの左下のボタンを1 回押すと、全てのトラックが繰り返され、もう一度押すと同じトラックが繰り返され、もう一度押すと繰り返しが終了します。

RANDOM 番号キーの右下のボタンを1 回押すと、トラックがランダムな順序で再生されます。もう一度押すとランダム再生が終了します。

高度なメニュー

アンプの電源投入

0 とI のマークが付いた主電源オン/オフスイッチは、背面パネルにあります。アンプの電源をオンにするには、主電源スイッチをI の位置に押します。CREEK のロゴがディスプレイ画面に点灯し、2 秒後にアンプのステータスを示すホーム画面が表示されます。

エコ モード

国際エコ(EU)の電力規制に準拠するために、一般の電気製品は、30 分以上アイドル状態の場合、消費電力を 0.5W 未満に抑える必要があります。したがって、4040 A は、ユーザー操作またはオーディオ信号が事前設定された時間内に検出されない場合、自動的にスタンバイモードになります。

自動スタンバイ

スタンバイタイムアウトを調整するには、MENU に入ります。オプションは、30 分、60 分、120 分、または常時オンです。自動スタンバイが有効になっている場合は、グラフィカルなタイマーシンボルが表示されます。

電源コード

4040 A には、お住まいの地域または国で使用されている電源ソケットに適合する主電源プラグ付きの電源コードが付属しています。不明な点がある場合は、販売店または正規輸入業者にお問い合わせください。4040 A はハitekの「再生型」高周波電源を使用しているため、市販の電源コードではオーディオ性能が向上する可能性は低いです。

消費電力

技術的に高度な 4040 A はエネルギー効率が非常に優れています。信号がない状態で電源をオンにすると、主電源から継続的に 5W の電力しか消費しませんが、スタンバイモードでは 0.5W 未満になります。スタンバイモードでは、補助電源が低電圧を生成し、アンプのシステムマイクロコントローラに継続的に電力を供給します。

電力はほとんど消費しませんが、主電源をオンにしてアンプの動作を開始する指示を待つために電源を供給する必要があります。

Creek Audio では、休日や休暇など、長期間使用しない場合はアンプを完全にオフにすることを推奨しています。内部の主電源安全ヒューズはユーザーが修理することはできません。

アンプ内にはユーザーが修理できる部品はありません。

アナログ入力

バランスオーディオ XLR ソケットは慣例に従います。Pin 1 =アース/シールド。Pin 2 = ホット (+ 位相)。Pin 3 = コールド (- 位相)。

バランス オーディオ入力では、ゲインまたは入力感度が自然に 2 倍になります。4040 A プリアンプ回路はバランス入力信号を減衰させ、ライン入力感度に合わせます。バランス入力の技術的利点は必要ないが、別のアンバランスライン入力が必要な場合は、必要に応じて簡単に実現できます。

XLR をアンバランス入力として使用するには、次の 2 つのオプションがあります。

1. XLR オス - RCA メス アダプタプラグまたはカスタム RCA - XLR オス プラグ。
2. 必要に応じて、Creek Audio がこれらのタイプのケーブルとプラグを供給できます。

バランス オーディオ

バランスオーディオは、オーディオ機器を相互接続するプロフェッショナルな方法です。バランスオーディオ接続では、信号パスでグランドを使用しません。グランドは、信号パスを電磁干渉から保護するためだけに使用されます。必要に応じて、より長いケーブルを使用できます。これにより、電磁干渉の影響を受けにくくなります。バランスインターフェースにより、誘導ノイズが受信側でコモンモード電圧として現れ、その後、除去またはキャンセルされます。

LINE 1 と LINE 2

両方のステレオ RCA 入力は、最大 2V レベルの信号に対応するアンバランスオーディオ入力を提供、アナログオーディオ出力を備えた CD プレーヤー、DAC、ラジオ チューナー、ストリーミング デバイスに適しています。音量レベルは、オーディオ プリアンプ回路によって制御されます。

DIRECT

DIRECT は、LINE 1 の代替オプションです。メニューで PA Direct を選択すると、Line 1 ソケットの信号入力は、プリアンプと音量コントロールをバイパスし、パワー アンプに直接接続されます。したがって、音量レベルは、プリアンプまたは音量調整機能を備えたデジタルデバイス (DAC) を介して外部で制御する必要があります。

PHONO

Phono 入力は、LINE 2 の代替オプションです。Sequel mk4 フォノプリアンプが 4040 A に取り付けられると、自動的に検出され、表示が Line 2 から Phono に変わります。

レコードディスクを聴くには、信号を 40 または 50dB (x100 または x316)増幅し、周波数応答を RIAA 標準に合わせて変更するフォノプリアンプが必要です。これは、Creek Audio OBH-8mk2 のようなスタンドアロンデバイス、または Sequel mk4 と呼ばれる 4040 A 専用のプラグインフォノプリアンプになります。Sequel mk4 フォノ プリアンプは、プリアンプ PCB に差し込んで、LINE 2 をライン入力から MM または高出力 MC フォノに再構成するモジュラーPCB です。Sequel mk4 がインストールされている場合、4040 A は自動的に PHONO を表示します。ディーラーによるインストールをお勧めします。

接地端子

バランス入力ソケットの上にあるネジ端子の接地ポストは、ターンテーブルのトーンアームを接地するためのものです。ほとんどのトーンアームには、アンプのシャーシ接地に接続するための別のアース線があります。一部のターンテーブルメーカーの商品では、トーンアームのアースと信号アースが結合されているため、アース ポストが不要になるものもあります。

デジタル入力

Bluetooth (非対応/日本仕様)

USB

USB クラス 2 オーディオは、コンピューターまたはネットワーク ストリーマーから 4040 A に高解像度デジタルオーディオ信号を接続するのに適した方法です。5m (16 feet) 以内の USB タイプ A オスから USB タイプ B オス(プリンター)ケーブルを使用してください。4040 A の DAC は、24 ビット 192 kHz を超える高解像度デジタル信号と DSD64 音楽ファイルを解決できます。

光

光ケーブルは、その性質上、接地絶縁されており、さまざまな長さで品質で購入できます。

SPDIF-TOSLINK の最大解像度は 24 ビット 192 kHz です。

ページ: 9

同軸

最良の結果を得るには、高品質の 75 Ω (RG59U) シールドケーブルを使用してください。同軸ケーブル経由で SPDIF 信号を渡す場合の最大解像度は 24 ビット 192 kHz です。不要なグラウンドループを防ぐため、同軸入力にはグラウンドからトランス絶縁されています。

右側のコントロール ノブの機能

右側のボリューム コントロールノブを回して、0 から最大 70 まで 1 dB ステップでボリュームを調整します。

アンプの出力は、ボリューム設定とソース機器からの入力信号レベルの両方の積であることに注意してください。出力信号が低いソースでは、必要な音量を得るためにアンプのボリューム設定を高くする必要があります。好みのリスニング レベルを達成するためにボリュームが最大 (70) に近づいていると感じても心配しないでください。必ずしもアンプが過剰に動作しているわけではありません。

音量設定はアンプの電源がオフのときに保存されますが、4040 A の電源が再びオンになると、レベルが 40 より高くない限り、最後の設定が復元されます。したがって、アンプの音量が 41～70 に設定されていて電源がオフになった場合、再び電源がオンになると、レベルは 40 に下がります。

左側のノブの機能

電源オン スタンバイモードから手動で電源をオンにするには、1 回押します。

自動スタンバイ 手動でスタンバイモードに入るには、2 秒間押します。

入力 回転して 3 つのアナログ入力と 4 つのデジタル入力を選択します。

メニューのセットアップ 1 回押して入り、回転して次のオプションにアクセスします。

Input 押して新しい入力を選択します。

Balance 左または右に回転して、スピーカー間のステレオイメージを移動します。

EQ ON を選択すると、EQ (トーン コントロール) が有効になります。OFF を選択すると、EQ が無効になります。

高音と低音は、EQ が ON のときのみ調整できます。

Treble 必要に応じて高音をブーストまたはカットします。

Bass 必要に応じて低音をブーストまたはカットします。

BT Pairing (非対応/日本仕様)

PA Direct PA ダイレクトモードを有効にするには、ON を選択します。Line 1 に戻るには、OFF を選択します。

《警告》 ボリュームレベルを制御する、前面にプリアンプがない状態でソースデバイスを PA ダイレクトに接続しないでください。

Dimmer Always ON または Auto OFF を選択すると、20 秒後にディスプレイがオフになります。

Brightness ディスプレイの明るさを調整します。

Auto Standby Always On、Idle 30 mins、Idle 60 mins、または Idle 120 mins に調整します。

USB Wake On 自動的にスリープ状態になるコンピューターまたはラップトップに接続されているときに、4040 A をスタンバイモードから自動的にウェイクアップするには、Enabled を選択します。

《注意》この機能を有効にするには、PC またはラップトップの BIOS で電源管理の調整が必要になる場合があります。Apple IOS の設定に移動します。

Info 押すと、モデル番号 4040 A とソフトウェアリビジョンが表示されます。

Reset 押すと、アンプが工場出荷時の設定に戻ります。

追加機能

ディスプレイ

バックライト付き LCD ディスプレイは、アンプの状態を表示するように設計されています。

選択した INPUT は、中央に大きな文字で表示されます。

音量レベルを変更すると、数秒間、INPUT の代わりに 0~70 の数字が表示されます。

使用中は、スピーカー シンボルが左上に表示されます。

ヘッドフォンが差し込まれると、スピーカー シンボルがヘッドフォンシンボルに変わります。

ミュートすると、シンボルの色が赤に変わり、X が付きます。

スピーカーシンボルの横には、音量設定を表す数字があります。

EQ と高音および低音の設定は、0dB より高いか低い場合に右上隅に表示されます。

可能な場合は、デジタル入力のサンプル レートと接続状態が下に表示されます。

コントロール設定

入力やその他の設定を変更すると、少し遅れて最後のアクションが記憶されます。そのため、アンプの電源がオフになったりスタンバイ状態になったりしても、アンプの電源を再度オンにすると最後の設定が記憶されます。

保護メカニズム

アンプは、次の 3 種類の潜在的な問題から自身を保護します。

過熱

4040 A の最新のハイテク回路は、同様の出力能力を持つ従来のアンプよりもはるかに低温で動作するように設計されています。ただし、アンプが過熱すると、スピーカー出力が自動的にミュートされます。

温度が十分に下がると、出力は自動的に復帰します。過熱を防ぐため、空気の流れが制限された状態でアンプを高レベルで動作させたり、周囲温度が 25 °C を超える場所で動作させたりしないでください。

過電流

4040 A を 4 Ω 未満の高レベルのスピーカー負荷に接続した場合、または出力端子またはスピーカーケーブルが誤って短絡した場合、4040 A は出力をミュートして直ちに保護します。これを回避するには、アンプの電源がオンで信号を増幅している状態でスピーカーケーブルを接続しないでください。負荷が低すぎてレベルが高すぎる場合は、音量を下げてください。障害が解消され、アンプは再び正常に動作します。それでも問題が解決しない場合は、アンプの電源をオフにして、スピーカー配線に短絡がないか確認してください。

DC オフセット

直流(DC)電圧は、すぐに除去しないとスピーカーを損傷する可能性があります。4040 A の DC オフセット保護回路は、これを防ぎ、出力をミュートします。

付録

ソフトウェア

ほとんどの最新電子機器と同様に、デジタル マイクロコントローラを使用してほぼすべての機能を管理しています。

このマイクロコントローラのプログラミングは、時間の経過とともにアップグレードが必要になる場合があります。リビジョン番号を表示するには、左側のコントロール ノブを短く押します。左側のノブを回して「Info」を選択します。ノブを押すと、モデル: 4040 A およびリビジョン:1.8 以上が表示されます。

最新のファームウェアが Creek の Web サイトで入手可能かどうかを確認してください。

デバイス ファームウェアアップデートを使用すると、アンプ内の接続を介してディーラーが特定の機能と特徴を更新できます。詳細については、ディーラーまたは輸入業者に問い合わせるか、info@creekaudio.com にメールしてください。

無線干渉

4040 A は、通常の家庭での動作条件で適切に動作するように設計されています。ただし、携帯電話、調光器、Wi-Fi モデムなどの近くにあると、パフォーマンスに悪影響が出る可能性があります。これは、Sequel mk4 がインストールされた状態でフォノ入力を使用すると特に顕著になる可能性があります。フォノ カートリッジは、内部にコイル状のワイヤーが組み込まれており、ラジオ受信機の同調回路とアンテナのように動作します。4040 A または干渉源の位置を変更すると、状況は正常になります。

注意

アンプを、深刻な可聴歪みやクリッピング(方形波)を引き起こす音圧レベルまで駆動しないでください。

歪みは、アンプまたはスピーカーが設計限界を超えていることを示しています。

オーディオ信号が著しくクリップされると、スピーカーが損傷する場合があります。

スピーカーやヘッドフォンから 90dB を超える音圧レベルが数分以上続くと、人間の聴覚に損傷を与えます。永久的な聴覚障害が発生する可能性があります。音楽を楽しみながら、耳を大切にしてください。

詳細については、販売店にお問い合わせいただくか、info@creekaudio.com までメールでお問い合わせください。

技術仕様

出力: 8Ωで 55 W、4Ωで 110 W、1% THD、2 チャンネル駆動。

連続出力電流: >8A RMS。

THD およびノイズ: <0.0045% (1kHz、2x 5W - 8 オーム)。

信号対雑音比: 105dB A 加負荷。

周波数特性: 10Hz ~ 20kHz、±1dB。5Hz ~ 50kHz、±3dB。

入力感度: 525mV、55W、8Ω。

電圧ゲイン: 32dB (x40)。パワーアンプゲイン。

クロストーク: 1kHz で>68dB、2x 5W、8 オーム。

プリアンプ入力: 2 つのアンバランス RCA、および 1 つのバランス XLR。

フォノ オプション: Sequel mk4 MM Phono Amp を装着し、LINE 2 をフォノ入力に変換します。

パワーアンプ ダイレクト: LINE 1 を、メニューから DIRECT パワーアンプ入力として設定できます。

パワーアンプ感度: 525mV、55W、8Ω。

デジタル入力: 1x 同軸 RCA、1x 光 TOSLINK、24 ビット 192kHz。

ページ: 13

Bluetooth 5.0 aptX HD（非対応/日本仕様）

デジタル - アナログ コンバーター: 1x USB 2.0、タイプ B。PCM >24 ビット 192kHz、DSD64 - 2.8224Mbits。

スピーカー出力: 側面のエントリホールとスペードラグとバナナプラグに対応 4mm バインディングポスト。

ダンピング係数: >100 (8Ω 時)。

ヘッドフォン出力ソケット: 30~300Ω に適した 6.3mm ステレオジャック ソケット。

リモート コントロール: RC-40 リモートコントローラーは標準装備、RC5 コードを使用します。

主電源入力電圧範囲: 100V @ 50Hz/60Hz。

主電源ヒューズ: T4A - 250V

消費電力: スタンバイ <0.5W、アイドル 10W、最大 350W。

自動スタンバイ: 信号がないと自動的に電源が切れます。

スタンバイ時間オプション: 30 分、60 分、120 分、ならびに常時オンの設定が出来ます。

仕上 げ色: シルバーまたはブラックのフロント パネル。ブラック カバーのみ。

重量: 正味 2.2kg、総重量 3.0kg(梱包時)。

サイズ (W/H/D): 21.5 x 6 x 25.5 cm、脚、ノブ、LS 端子を含む。

Creek Audio Ltd

Web: www.creekaudio.com Email: info@creekaudio.com Tel +44 (0) 1442 260146